

財団法人 8020 推進財団 平成 22 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録	
1.	事業名 ：福岡・釜山健康トライアル「健口でいくつになっても元気ったい！」事業
2.	申請者名 ：福岡・釜山健康づくり交流事業実行委員会（福岡市保健福祉局内） 会 長：守山正樹（福岡大学医学部） 事務局：NPO 法人 AABC(アジアン・エイジング・ビジネスセンター)
3.	実施組織 ：【主催】福岡・釜山健康づくり交流事業実行委員会 【協力】福岡市歯科医師会・福岡歯科大学・九州大学歯学部
4.	事業概要 ： 産官学が連携して実施する、健康分野での日韓交流事業に歯科部門も参画した。一方、福岡市歯科医師会は釜山市歯科医師会との長年の学術交流実績により、釜山市長より感謝状を受けており、歯科領域での日韓人事交流の連携強化に資する事業としても位置付けた。 *期待される成果 1) 「健康日本 21 福岡市計画・中間見直し」での“歯の健康”分野で設定した目標値(H24)の達成、歯周病予防への市民の意識が高揚し、8020 達成に向けて機運が醸成される。 2) 日韓、東アジアとの健康分野交流で「口腔保健」の重要性がアピールできる。
5.	事業内容 ： 1) 「福岡・釜山 健康づくり交流」事業 福岡市と釜山市の市民それぞれ 100 人が健康づくりに取り組み、これを通じ交流を図ると同時に、その成果を競い合うもので、まず、福岡市での健康トライアルが開始された。 *基本検査項目：身長、体重、腹囲、問診など *目標設定：食事・運動など、健康的なライフスタイル *歯科項目：歯周病チェック（唾液潜血検査）および口腔保健質問（日本歯科医師会作成） 2) ACAP（アジア太平洋アクティブエイジング会議）2010（福岡大学キャンパスほか） ①ポスター発表 シンポジウムで、「健康日本 21 福岡市計画」歯科分野、および、「福岡・釜山健康づくり交流」事業での歯科取組みについて、ポスター発表を行った。 ②スタディツアー アジア太平洋諸国からの参加者を対象に、市内の高齢者施設等の見学・研修のスタディツアーが実施され、福岡歯科学園グループの特別養護老人ホームと老人保健施設での歯科治療・口腔ケア等の取組みの紹介があった。 3) 釜山歯科医師会長へ福岡市長より感謝状授与（釜山広域市 BEXCO） 昨年度、釜山市・福岡市の学術交流に寄与した功績で、釜山市長より福岡市歯科医師会長に感謝状が授与されていた。今回、福岡市長より釜山市歯科医師会長に感謝状を贈呈し、両市の民間交流推進のなかで、歯科医師会の先進的な取組が評価された。
6.	今後の課題 ： 1) 福岡市「歯の健康づくり」の推進 高齢化の急速な進展のなか、市民が、生涯、できる限り住み慣れた地域で、いきいきと健康に暮らせるよう、充実した食生活の基盤となる、8020 を目指した「歯の健康づくり」の更なる推進が求められている。 2) 釜山市との交流を通じた「歯の健康づくり」機運の醸成 今回、「福岡・釜山 健康づくり交流」事業、福岡市でのトライアルが実施され、これに、歯科分野として参画し、結果を国際シンポジウム（ACAP2010）で発表し、「歯の健康づくり」機運の醸成を図った。来年度には、釜山市でのトライアルがスタートする予定であり、これに歯科分野の参画を目指し、さらに、「歯の健康づくり」意識の高揚に努めていきたい。